

筋肉注射トレーニングモデル

取扱説明書

P55



この度はP55筋肉注射トレーニングモデルをお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。ユーザー様御自身や周りの方々への危害および損害を未然に防ぐため、本取扱説明書をよくお読みの上、製品を正しくお使い下さい。

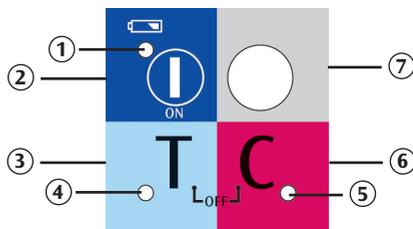
目次

1. 各部名称と基本操作	3	5. よくあるご質問	8
1.1 電源を入れる	3		
1.2 Tボタン/Cボタンについて	3	6. お手入れ	8
1.3 インジケーターの見方	4	6.1 模擬皮膚のクリーニング	8
1.4 電源を切る	4	6.2 模擬皮膚の交換	8
2. ご使用になる前に	4	7. 保証	11
2.1 収納箱	4	8. 交換部品	11
2.2 内容物	4		
2.3 安全・使用上の注意	4		
2.4 電池の寿命	4		
2.5 電池を入れる	4		
3. 筋肉注射トレーニングモデルの使用	6		
3.1 操作	6		
3.1.1 各部名称	6		
3.1.2 電源を入れる/切る	6		
3.1.3 トレーニングモードを使用する	6		
3.1.4 コントロールモードを使用する	6		
3.2 筋肉注射をトレーニングする	7		
3.2.1 穿刺部を確認する	7		
3.2.2 皮膚の消毒	7		
3.2.3 筋肉注射を行う	7		
4. 装着と保管	7		
4.1 人体への装着	7		
4.2 卓上で使用する	7		
4.3 保管	7		

1. 各部名称と基本操作

各部名称

- ① 電源ランプ (赤)
- ② スタートボタン
- ③ Tボタン (トレーニングモード)
- ④ トレーニングランプ (黄色)
- ⑤ コントロールランプ (黄色)
- ⑥ Cボタン (コントロールモード)
- ⑦ 結果表示インジケータ (赤, 緑)



1.1 電源を入れる

ご使用前に単3電池2本を本体にセットして下さい。(5ページ 図2~4参照)

電源ランプが：

- 点灯しない場合 → 正常に作動しています
- 赤色に点灯している場合 → 電池の残料が少なくなってきています
- 赤色に点滅している場合 → 電池を交換して下さい

T スタートボタンを押すと一旦全てのランプとインジケータが点灯します。トレーニングランプのみが点灯し他の光が消えた状態になると使用可能となります。(6ページ 3.1.2参照)

1.2 Tボタン/Cボタンについて

トレーニングモードとコントロールモードを選択することができます。トレーニングモードを選択する場合はTボタンを、コントロールモードを選択する場合はCボタンを押して下さい。

T トレーニングモード (Tボタン) で注射の練習を行うと穿刺と同時に以下のようなフィードバックが得られます。

- ・筋肉に正しく穿刺されると、インジケータが緑に点灯します。
- ・針先が骨に接触すると、インジケータが赤く点灯すると同時にアラームがなります。

C コントロールモードで練習を行うと穿刺中はインジケータは点灯しません。代わりに練習の結果が保存されます。保存されたデータはCボタンを押すことで確認できます。

- ・筋肉に正しく穿刺された場合、インジケータが緑に点灯します。
- ・正しく注射が行われなかった場合、インジケータが赤く点灯します。

(注) 針先が骨に接触した場合はCボタンを押さなくても即座にインジケータが赤く点灯するとともにアラームがなります。

1.3 インジケータの見方

	トレーニングモード	コントロールモード
注射が正しく行われた時	緑に点灯	緑に点灯
注射場所が不適切	信号無し	赤く点灯
注射が浅すぎる	信号無し	赤く点灯
針先が骨と接触	赤に点灯	赤く点灯

1.4 電源を切る

電源を切るにはTボタンとCボタンを同時に押します。また、2分間使用されなかった場合は自動的に電源が切れます。

2. ご使用になる前に

2.1 梱包

製品をお受け取りになったら収納箱の傷や汚れの有無を確認して下さい。傷や汚れなどがある場合はご購入先のカスタマーサービスに連絡して下さい。また、この箱はトレーニングモデルの輸送・保管用にデザインされておりますので捨てずに保管して下さい。

2.2 内容物

- ・トレーニングアーム (上腕骨上部, 模擬筋肉, 模擬皮膚より構成)
- ・交換用模擬皮膚
- ・ディスポ注射器 (5ml)
- ・単3電池2本
- ・取扱説明書 (基本編), CD-ROM版取扱説明書 (詳細編)

2.3 安全・使用上の注意

安全上の注意

- ・お子さまの手の届かないところに保管して下さい。
- ・電池は必ずアルカリ乾電池か充電式のニカド電池もしくはニッケル水素電池を使用し、他の電池は使用しないで下さい。また、古い電池と新しい電池や、タイプの違う電池をまぜてのご使用はおやめ下さい。液漏れ、破裂の原因となります。
- ・電池は+, -の向きに注意して正しくセットして下さい。

使用上の注意

- ・ご使用前に単3電池2本を本体にセットして下さい。(5ページ 図1~4参照)
- ・トレーニングアームの模擬皮膚は柔軟性のある素材 (シリコン) でできております。長期におけるご使用、および同一箇所への穿刺を繰り返した後は付属の交換用模擬皮膚と交換して下さい。
- ・注射針は20もしくは21ゲージ/外径0.8mm、長さ4cmのものをご使用下さい。
- ・使用済みの電池および筋肉注射トレーニングモデルは各自自治体の規定に従って処分して下さい。
- ・筋肉注射トレーニングモデルの汚れを落とす際にシンナー、アルコール、ベンジンなどの溶剤を使用しないで下さい。

2.4 電池の寿命

付属の電池はアルカリ乾電池 (1.5V) です。この筋肉注射トレーニングモデルは付属の電池2本で約20時間ご使用できます。付属の乾電池以外の電池をご使用の場合、作動時間は電池の種類によって若干異なります。

2.5 電池を入れる

本製品の背面フェルトカバーを外します (5ページ 図1, 図2 参照)。電池収納ケースのカバーを外し、付属のアルカリ単3乾電池を+, -の向きに注意してセットして下さい。(5ページ 図3, 図4参



図 1



図 2



図 3



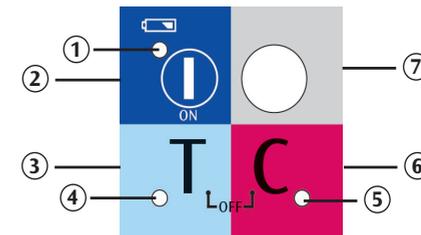
図 4

3. 筋肉注射トレーニングモデルの使用

3.1 操作

3.1.1 各部名称

- ① 電源ランプ (赤)
- ② スタートボタン
- ③ Tボタン (トレーニングモード)
- ④ トレーニングランプ (黄色)
- ⑤ コントロールランプ (黄色)
- ⑥ Cボタン (コントロールモード)
- ⑦ 結果表示インジケータ (赤, 緑)



3.1.2 電源を入れる／切る

電源を入れる

- ・スタートボタンを押します。①
- ・すべてのインジケータが5回点滅します。点滅しない場合は電池が正しくセットされているか確認して下さい。また、必要に応じて新しい電池と交換して下さい。すべてのインジケータが点滅しない場合はご購入された販売店に連絡して下さい。
- ・電源が入ると自動的にトレーニングモードになり、トレーニングランプが黄色に点灯します。

電源を切る

- ・TボタンとCボタンを同時に押します。T + C
- ・2分間使用されなかった場合は自動的に電源が切れます。

(注意) 長期間ご使用にならない場合、電池の液漏れによる破損を防ぐため、電池を電池ケースから取り出して下さい。

3.1.3 トレーニングモード (Tボタン) を使用する

- ・Tボタンを押します。T
- ・トレーニングランプが黄色く点灯します。
- ・筋肉注射トレーニングを始めます。
- ・穿刺と同時に以下のようなフィードバックが得られます。
 - ・筋肉に正しく穿刺されるとインジケータが緑に点灯します。
 - ・針先が骨に接触するとインジケータが赤く点灯すると同時にアラームが鳴ります。
 - ・穿刺が浅すぎたり、穿刺の場所が不適切だとインジケータは点灯しません。
- ・新しいトレーニングを始める時は再度Tボタンを押します。T

3.1.4 コントロールモード (Cボタン) を使用する。

- ・Cボタンを押します。C
- ・コントロールランプが黄色く点灯します。
- ・筋肉注射のトレーニングを始めます。
- ・トレーニングの結果は保存され、穿刺中はインジケータは点灯しません。ただし針先が骨に接触した場合は即座にインジケータが赤く点灯しアラームが鳴ります。
- ・Cボタンを再度押すとコントロールランプが黄色く点滅し、保存されたデータを確認することができます。
 - ・正しい場所に正しい深さで穿刺された場合、インジケータが緑に点灯します。
 - ・穿刺が浅すぎたり、不適切な場所に穿刺された場合、インジケータが赤く点灯します。
- ・新しいトレーニングを始める時は再度Cボタンを押します。C

3.2 筋肉注射のトレーニングをする

3.2.1 穿刺部を確認する

上腕部の筋肉注射は三角筋前半部に行います。はじめに肩峰を触診します。穿刺部は肩峰より指3本分(約5cm)程下になります。

3.2.2 皮膚の消毒

市販の消毒液等は模擬皮膚の素材をいためる恐れがあるため水道水をご使用下さい。

3.2.3 筋肉注射を行う

通常筋肉注射の針入角度は皮膚表面に対して直角です。まず三角筋前半部に適切な深さ(約1~2cm)に穿刺し、次に血液の逆流の有無を確認するために一度内筒を引いた後、ゆっくりと内筒を押します。内筒を押し終えた後、素早く針を引き抜き、殺菌綿代わりに水道水を浸した綿で穿刺部を押さえます。

4. 装着と保管

4.1 人体への装着

筋肉注射トレーニングモデルを患者役の方の上腕部に押し当てます。ストラップを上腕に巻き、バックルに通します。適切に固定されるまでストラップを引きバックルを閉じます。

4.2 卓上で使用する

人体に装着せず卓上でトレーニングを行う際は、筋肉注射トレーニングモデルが卓上から滑り落ちないように十分に注意して下さい。

4.3 保管

- 乾燥した場所に、室温で保管して下さい。
- 直射日光の当たる場所での保管は避けて下さい。45℃以上の熱にさらされると変質・変型する恐れがあります。
- 長期間ご使用にならない場合、電池の液漏れによる破損を防ぐため、電池を電池ケースから取り出して下さい。

5. よくあるご質問

- Q1. 電源ランプが点滅しています。電源を一度オフにした後点滅は止まりましたが再び点灯しました。
- A. 容量の違う電池を使うとこのような現象が起こることがあります。新しいアルカリ乾電池(1.5V)もしくはニカド電池がニッケル水素電池と交換して下さい。また、電池は同じ形・種類・容量のものを使用して下さい。
- Q2. 長期間、筋肉注射トレーニングモデルを使用しなかった後、電源が入りません。
- A. 電源が入ってなくても放電により電池が消耗している可能性があります。新しい電池と交換して下さい。また、電池の液漏れによる破損を防ぐため長期間ご使用にならない場合は電池を電池ケースから取り出して下さい。
- Q3. どの種類の乾電池を使用すればよいのですか？
- A. 電池は必ずアルカリ乾電池、ニカド電池、ニッケル水素電池のいずれかを使用し、他の乾電池は使用しないで下さい。
- Q4. 充電式電池を使うことはできますか？
- A. ニカド電池、ニッケル水素電池をご使用いただけます。ただし、電池は同じ形・種類・容量のものを使用して下さい。

6. お手入れ

6.1 模擬皮膚のクリーニング

模擬皮膚の汚れは中性洗剤で落とすことができます。溶剤を含む洗剤は素材(シリコン)の変形・変質を引き起こす可能性がありますのでご使用を避けて下さい。

6.2 模擬皮膚の交換

側面の3つのスナップボタンを外に開くようにして外しフレームを取り外します(9ページ 図5, 図6参照)。この時、発泡体状の模擬筋肉がその下にある上腕骨上部とずれていないか確認して下さい。次に模擬皮膚をはがし(10ページ 図7, 図8参照)、新しいものと交換して下さい。その上から再びフレームをかぶせ、スナップボタンをはめて固定します。

筋肉注射トレーニングモデル



図 5



図 6

筋肉注射トレーニングモデル



図 7



図 8

筋肉注射トレーニングモデル

7. 保証

商品のお届けから3年以内にメーカー責任による欠陥が発見された場合、無償で交換もしくは修理いたします。メーカー責任による欠陥とは、お客さまの正常なご使用状態とメンテナンスのもとで発生した技術上・製造上・素材および電子部品の欠陥のことです。

なお保証期間内においても次の場合は保証の対象外となります。

- 弊社および弊社が指定するサービス実施店以外で修理・調整・改良された場合。
- お客さまのお取り扱いが適切でなかったために故障が生じた場合。

また消耗品（模擬皮膚、模擬筋肉、注射針、シリンジ、乾電池）も保証の対象外となります。

製品底部のフェルトカバーをはがすと中央部にシリアル番号が記入されております。製品の不具合が発見された場合はそちらもあわせてご連絡下さい。

8. 交換部品

消耗部の交換用に次の部品をご購入いただけます。

- XP300 模擬皮膚

